

代々木病院の理念

ヒューマニズムにもとづく医療・介護の実践

くらしと健康

No. 666 2023年 4月号 1部60円 友の会会員は会費に含まれています 発行 東京勤労者医療会代々木病院 院長 河邊 博正 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷1-30-7 TEL 03(3404)7661 http://www.tokyo-kinikai.com/yoyogi

できないことを諦めるのではなく、どうしたらできるのか？の視点で

コロナ禍で学んだ精神デイケアの取組み

2月25日、東京民医連西南ブロックで活動交流集会がリモートで開催されました。代々木病院精神デイケアの武藤千絵さんから、「コロナ禍で学んだ精神デイケアの取組み」について発表しました。コロナ禍での精神デイケアの活動をご紹介します。(編集部)



コロナ禍での精神デイケアの取組みについてリモートで発表を行う武藤千絵さん

代々木病院の精神科治療

代々木病院精神科は50年という歴史ある診療科です。「生活を見ずして治療できない」として実際の患者さんのくらしを

直接みながら、本人や家族、周囲の状況にも積極的に働きかけていく「生活臨床」の視点で精神症状と向き合いどのような形がその患者さんにとって良くなるのかを一緒に



製作されたマスク

治療を考えます。

精神科の主な対象疾患は、統合失調症、感情障害(双極性感情障害、うつ病)、発達障害、社会不安障害、適応障害、心的外傷性ストレス障害、依存症などです。これらの疾患に対して主に①薬物療法②認知行動療法③集団療法、などを用いて治療をします。今回は③の集団療法として精神デイケアをご紹介します。

精神科デイケアとは

代々木病院精神デイケア通院中の患者さんは約50名の男女で、年齢層は20代から70代までです。統合失調症4割、感情障害4割、発達障害1割、



コロナ禍初期に不足していたマスクを製作、配布

その他1割となっていてます。スタッフ体制は、医師、看護師、作業療法士、精神保健福祉士です。それでは精神デイケアは、どのような人たち

が、何のために利用しているのか?「生活リズムを安定させたい」、「病気のことを隠さずに話せる仲間がほしい」、「ホッとできる場所がほしい」、「体力・気力をつけたい」、「仕事に就きたい、戻りたい」、「対人関係づくりの練習をしたい」、「再発予防できるようにしたい」、「生きる目標(生きがい)を見つけない」、「など一人ひとりの目標に向かって、回復を目指しリハビリを行います。具体的には、運動、合唱、学習、ストレスケア、外出、アート、販売活動、院内ボランティア等多岐にわたる活動を通じ、年齢層やニーズの幅広さに



病棟などで感染対策のために使用される防護服セットの仕分け作業。

2020年に新型コロナ

2020年に新型コロナウィルスが猛威を振るい、かつて経験したことのない不安と恐怖の日々の中、デイケアという「集団」の場であるため、いち早く対策・検討を重ねました。検討の中では、世間と同様メンバー



車いす磨き

も不要不急を体験する機会

も不要不急を体験する機会はない!「不安で具合が悪くなってしまう。だからデイケアは絶対開所を続けてほしい」というメンバーからの切実な声を聴き、開所継続を意思しました。しかし、コロナ禍の初めの頃はクラスター予防の強い意識から活動を極限まで制限したことで、数日後には「世間は



リモート活用によるオンライン合唱、マスクをしてハミングで歌うハミング合唱を生み出しました。

権利のある人が、以前に

権利のある人が、以前に増して生きづらい世の中になっていくことがわかり、デイケアは何のためにあるのか?本来あるべき姿は?私たちに出来ることは何なのか?と考えました。



(2面に続く)

千駄の萱

今年春が早い。ラニニヤが終わったためか、温暖化の影響か。桜の開花も10日早く、この号が出る頃にはすっかり葉桜となり、新社会人は新緑に迎えられて新生活に入っていることだろう。コロナ禍に翻弄されたこの3年ほどの間、

明るい話題が少なかった中で学生生活を送ってきた彼らには少しでも希望が持てる新年度となって欲しい▼世間ではマスク着用から解放されつつあるが、医療機関は元々勤務中のマスク装着時間が長い。その意味で一日の半分は変わらないかもしれないが、それでもマスクを外せる時間が普通に取れるようになることでお互いの「本当の顔」を見られることは、「コミュニケーション」に確実な変化をもたらすと思う。本来は元に戻るだけなのに、世界的に感情や、人間関係に起因するトラブルが増加した事は、コロナ禍において人間に必要な「何か」が欠けていた事に気づかされるのではないかと。お互いの表情を見ながら話し合い、笑い合えることは人間の資質だと。感情労働者である医療従事者には特に。マスクをしないプーチンさんには関係ないか。(ひ)